

# 言葉言葉言葉

岸田國士

青空文庫



——僕はあなた見たいな女が好きですよ。

——さう？　あたしも、あなた見たいな男が好き……。

——へえ、それぢや、入れ代つたらよかつたなあ。

かういふ間違ひは、そんなに稀ではない。

頭のとつぺんから——うしろから——額の生え際から声を出す  
人がある。

日本の役者は妙な処から声を出しますね。——旧劇では頬のあ

たりから。新派劇では眼と眼の間から。そして、所謂新劇では、はてな、あれはと、耳の上からでしたね。たしか……。

公園のベンチに腰をかけてみると、一匹の野良犬が、どこからかやつて来て、ベンチの脚に小便をひっかける。

犬は、してしまふと、僕の方をちらと横目で見て、あわてゝ眼をそらす。さうして、気まりが悪るさうに、向うへ行つてしまふ。

「おい、君、君……」

僕はうつかり、さう呼びかけるところだった。

批評家が、自ら他人に加へた批評を読み返して見て、常にそれが、恰も他人が自分に加へた批評であるかのやうな感銘を受ける時、その批評家は、みぢめである。

彼は、しまひに、本当のことが言へなくなるだらう。

僕もさういふ一人であるらしい。

「翻訳者の歡びは、発見者の歡びである」

僕がかういふのに対して、友の××は言ふ。「翻訳にも創造がある」と。そして附け加へる。「マラルメやヴァレリイを訳して

るれば、自分も詩を作らうなどといふ欲望は起らない」と。

僕がこの友を畏れ、且つ愛する所以である。

親戚の青年が一人、僕のところによつて来る——月に一度乃至二度。

彼は、来た時にはたゞ頭を下げる。それから帰る時、「もう帰ります」と云ふまで、黙り続けてゐる——二時間でも三時間でも、時とすると半日。

僕は仕事の手を休めて彼の顔を見てゐる。といふよりも彼が今、何を考へてゐるかを知らうと努める。……彼は何も考へてはゐな

い。たゞ、悩ましげに、「自己の存在」を見つめてゐるのだ。

彼は僕と話をしに来るのではない。彼には、黙つて彼の前にすわつてゐる人間が必要なのかも知れない。

誰にでもさういふ時がある。

庭にコスモスを植ゑさせた。少し時期が遅いかも知れないといふことであつた。<sup>ひでり</sup>早が続いた。朝晩、丹念に水をやつた。萎れかけてゐた葉が、莖が、活きくと伸び上つた。立派についた。

「なあに、コスモスなら、ほうつといつてもつきますよ」

今になつて、人が、かう云つたとする。

あなたは、水をやつたことを後悔しますか。ほんたうに後悔しますか。

十六になる妹は波を怖こわがらない。二十になる姉は怖わがる。五つぐらゐの男の児は、波が寄せて来る毎に泣いた。三十を余計は越してゐないと思はれる、その母親らしい女は、子供をあやしなから、波に背を打たせてゐる。

髮白の老婆が、黒い日傘の下から、「あぶないよ、お前」と叫んだ。



あまり虫が多いので、窓に葭簾よしずの戸をはめさせた。

さうすると、一匹の蠅が、十匹の蛾よりもうるさくなつた。

女どもにも、たまには良い空気を吸はせてやろう——かう思つて……。

海岸の宿屋に来てから、彼女らは盛に食ふ。——ほんとに、いゝのか知らと思ふほど食ふ。

「やつぱり、からだの具合が違つて来るんだね、薬なんだね……  
そんなに腹がへるのは」かういふと——

「それや……自分でお勝手をしないだけでもね」

「非常に佳い」甲の友は云ふ。

「どうも下らない」乙の友は云ふ。

その中間を取つて、「まあ相当なものだらう」と思ふのが人情なら、その人情は、また「鬼に呉れ」てしまへ。

# 青空文庫情報

底本：「岸田國士全集19」岩波書店

1989（平成元）年12月8日発行

底本の親本：「言葉言葉言葉」改造社

1926（大正15）年6月20日発行

初出：「文芸春秋 第二年第八号」

1924（大正13）年9月1日発行

入力…tatsuki

校正…Juki

2005年11月23日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 言葉言葉言葉

岸田國士

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>